



**日本テクノ・ラボ（株）**  
(札幌アンビシャス：3849)

**2022年3月期 第2四半期  
決算補足説明資料**



October 29, 2021

<https://www.ntl.co.jp/>

# 2Q総括と3Q以降の取り組み

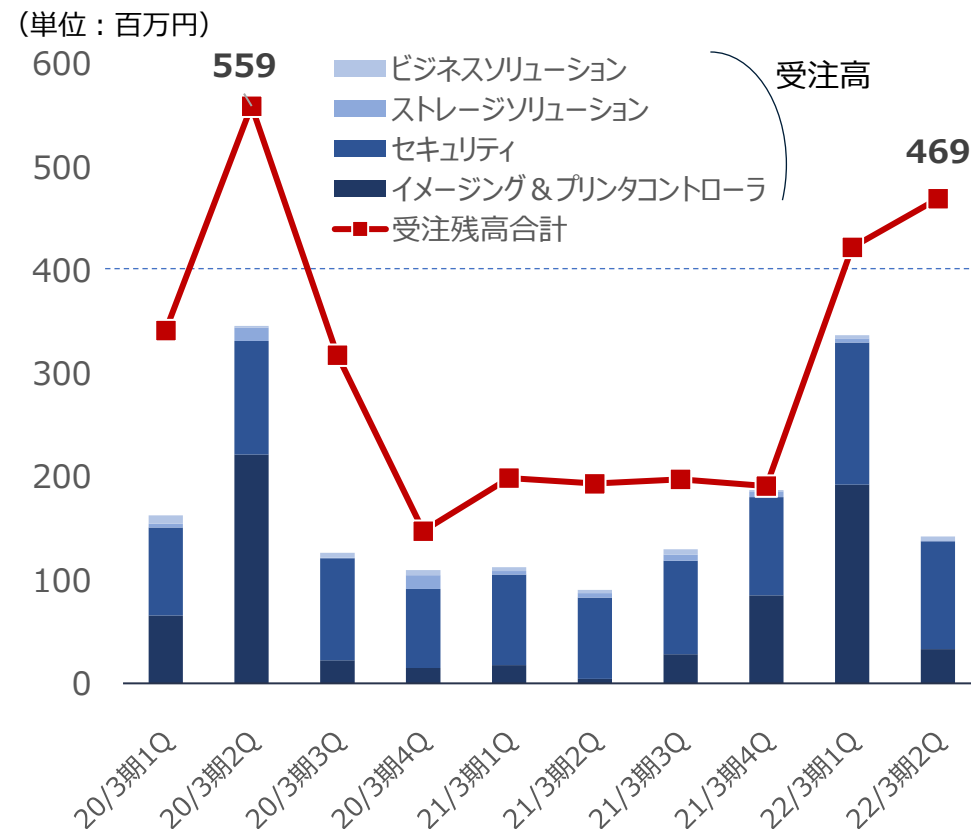
## 2Q総括

- 売上高は前年同期比+28%と大幅増収。コロナ前の2020年3月期2Q実績（1.9億円）を上回った。
- 前期、新型コロナウイルス感染症の影響により停滞していたイメージング&プリンタコントローラ事業の受注活動が進み、受注残高は4.6億円と2020年3月期2Q（5.5億円）以来の水準。

## 3Q以降の取り組み

- 前期苦戦したイメージング&プリンタコントローラの商談は活発化。確度の高い大型案件に集中。
- 通期業績予想達成に向け、全セグメントでの増収を目指し、積極的な受注活動を展開。
- 顧客ニーズを先取りし各製品の機能強化に向けR&Dにも注力。

四半期毎受注高（会計期間）と受注残高（累計期間）



# 損益計算書サマリー



新型コロナウイルス感染症の影響から前期に受注見送りや納品時期の見直し等があり苦戦したイメージング & プリントコントロール事業のプロジェクトが今期に入り徐々に稼働。前期比+28%の増収で着地。

単位：百万円	2022/3期 2Q実績	2021/3期 2Q実績	前年同期比較		ご参考 2020/3期 2Q実績
			増減額	増減率	
売上高	<b>200</b>	156	+43	+28.0%	193
営業利益	△ <b>110</b>	△124	+14	—	△33
経常利益	△ <b>98</b>	△124	+25	—	△32
四半期純利益	△ <b>69</b>	△90	+21	—	△36

# セグメント別情報 売上高



単位：百万円	2022/3期 2Q		2021/3期 2Q		前年同期比較		ご参考 2020/3期 2Q	
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減額	増減率	売上高	構成比
イメージング& プリンタコントローラ	<b>91</b>	<b>45.4%</b>	23	15.1%	+67	+284.5%	24	12.8%
ストレージソリューション	<b>7</b>	<b>3.5%</b>	6	4.4%	+0	+2.6%	12	6.7%
セキュリティ	<b>95</b>	<b>47.8%</b>	119	76.4%	▲23	▲19.9%	145	75.6%
ビジネスソリューション	<b>6</b>	<b>3.3%</b>	6	4.1%	+0	+3.1%	9	4.9%

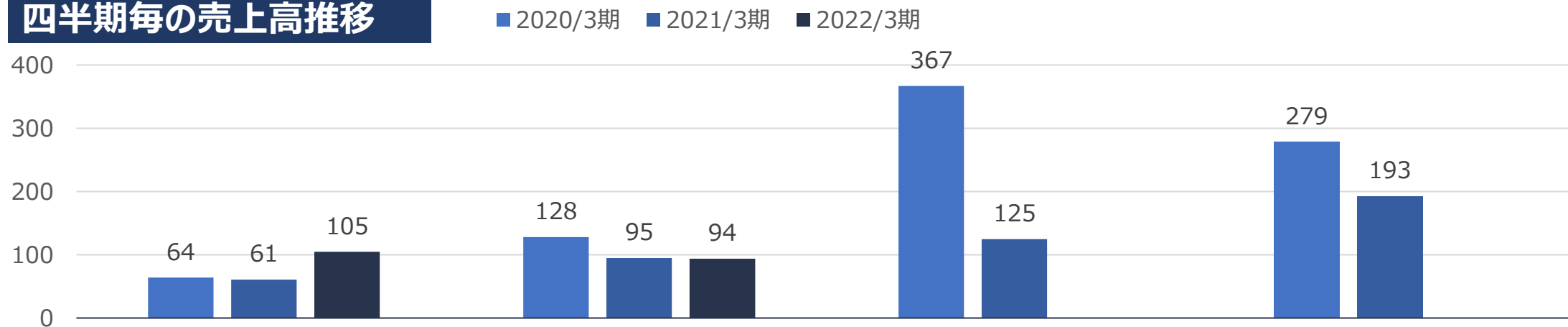
# セグメント別情報 セグメント利益



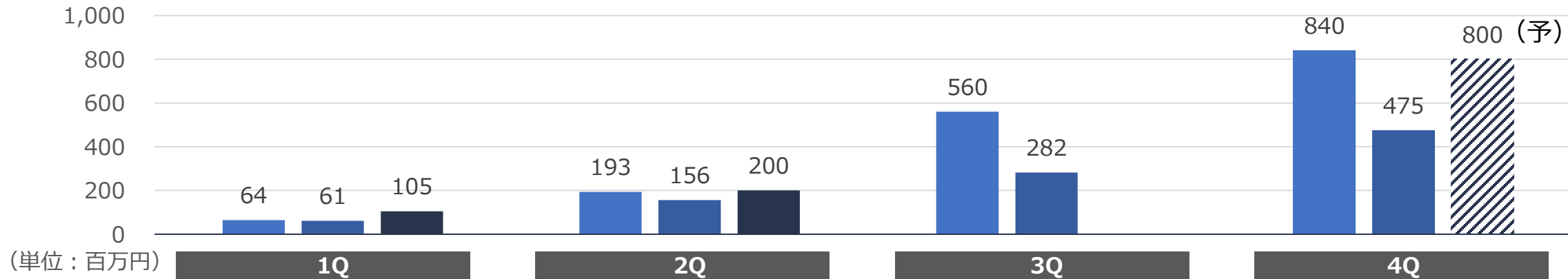
単位：百万円	2022/3期 2Q	2021/3期 2Q	前年同期比較	ご参考
	セグメント利益	セグメント利益	増減額	2020/3期 2Q
イメージング& プリンタコントローラ	<b>15</b>	△18	+33	2
ストレージソリューション	△ <b>10</b>	△12	+2	△17
セキュリティ	△ <b>55</b>	△15	△40	44
ビジネスソリューション	<b>2</b>	△0	+2	2

# 四半期業績推移 (売上高：過去3期比較)

## 四半期毎の売上高推移



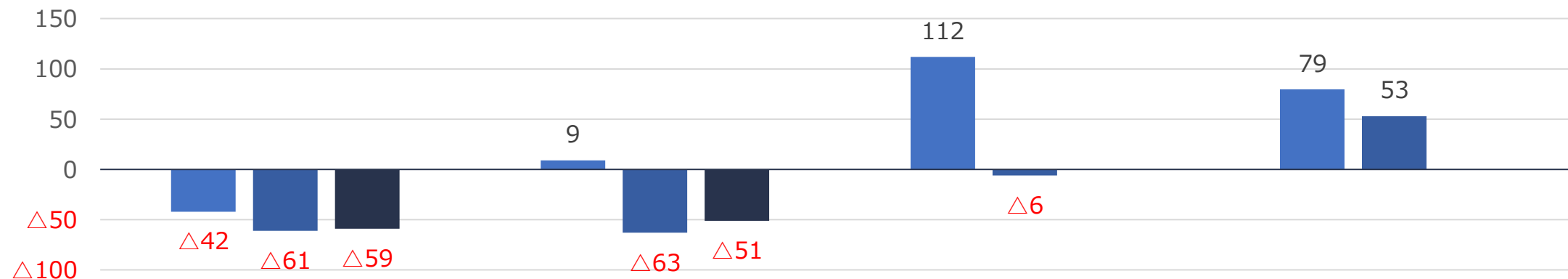
## 累計売上高推移



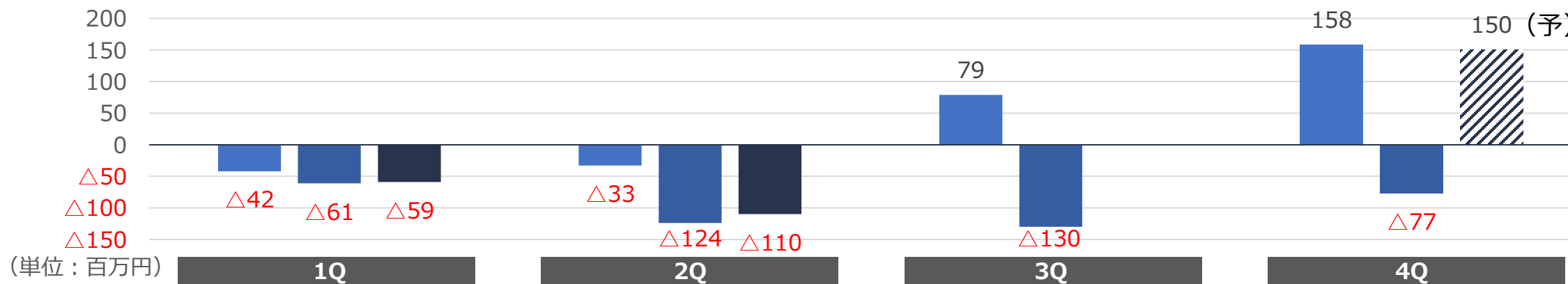
# 四半期業績推移 (営業利益：過去3期比較)

## 四半期毎の営業損益推移

■ 2020/3期 ■ 2021/3期 ■ 2022/3期



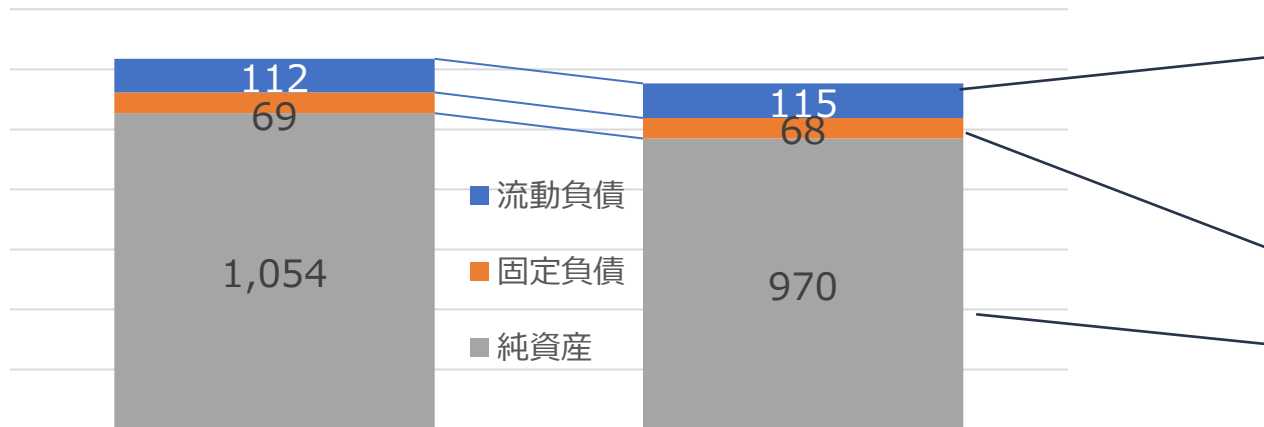
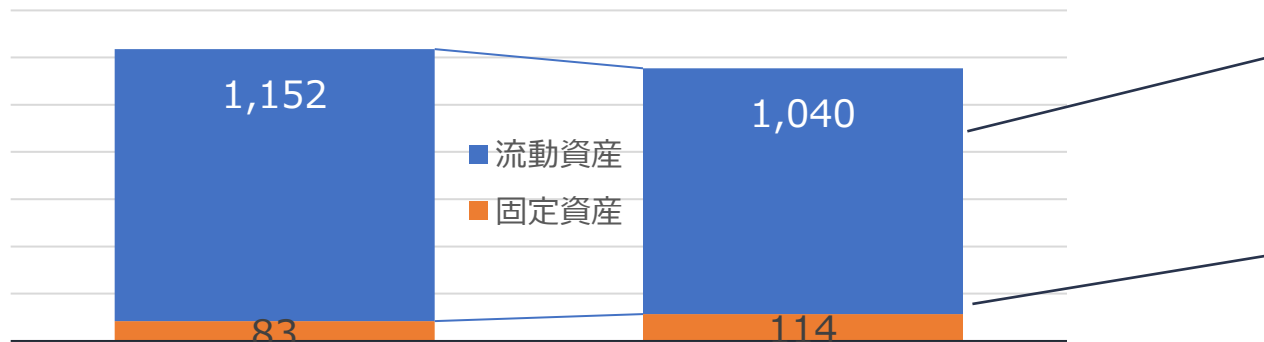
## 累計営業利益推移



# 貸借対照表

21/3期末

21/9月末



単位：百万円

## 【主な増減要因】

現金及び預金：39百万円増加  
 受取手形及び売掛金：69百万円減少  
 未収還付法人税等：39百万円減少  
 仕掛品：22百万円減少  
 短期貸付金：20百万円減少

繰延税金資産：30百万円増加

買掛金：33百万円減少  
 前受金：46百万円減少  
 契約負債：74百万円増加  
 未払金：3百万円増加  
 未払消費税等：2百万円増加

繰延税金負債：1百万円減少

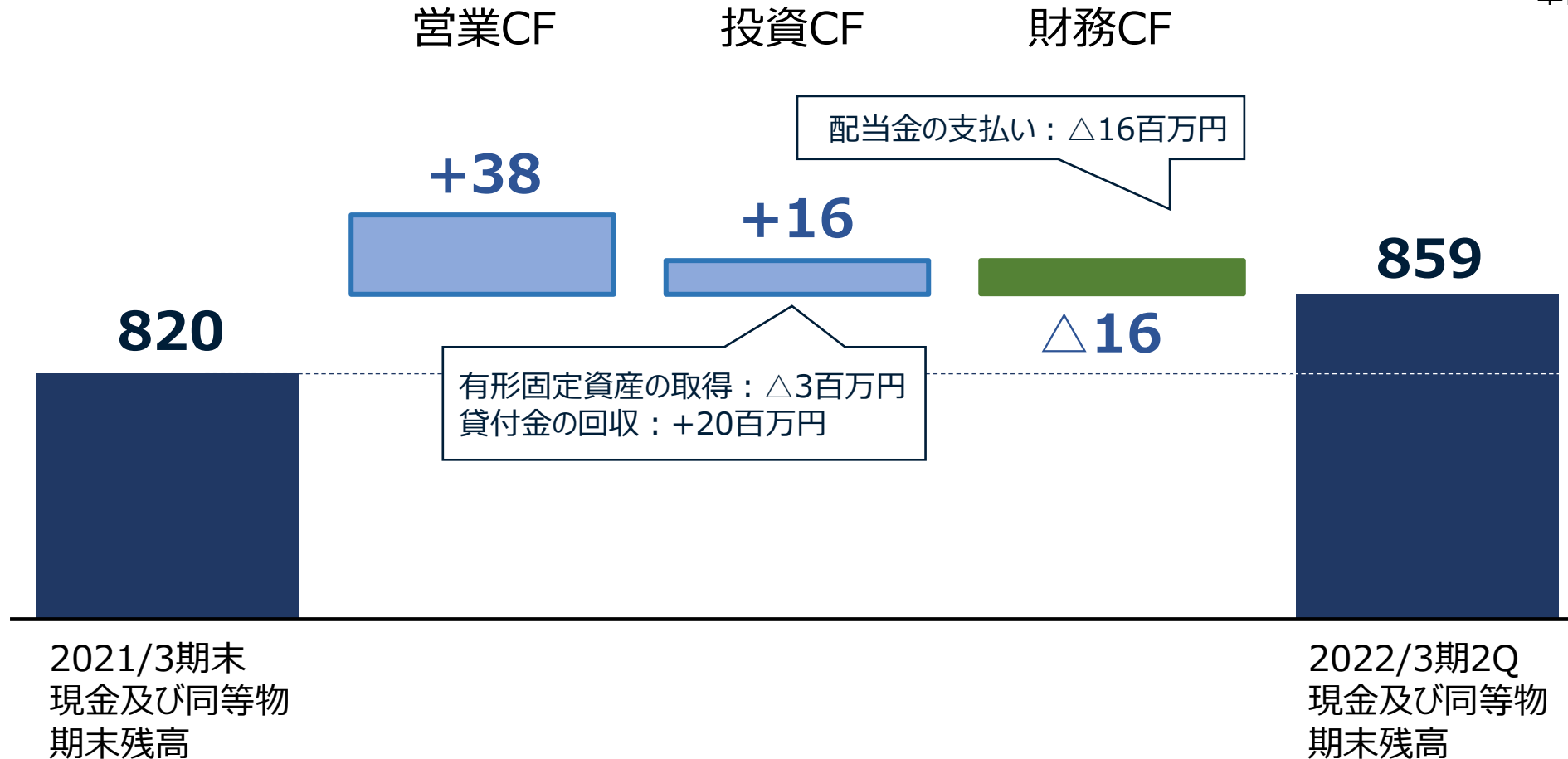
利益剰余金：85百万円減少  
 ▶ 配当金の支払い：16百万円  
 ▶ 四半期期純損失計上：69百万円



# キャッシュフロー計算書

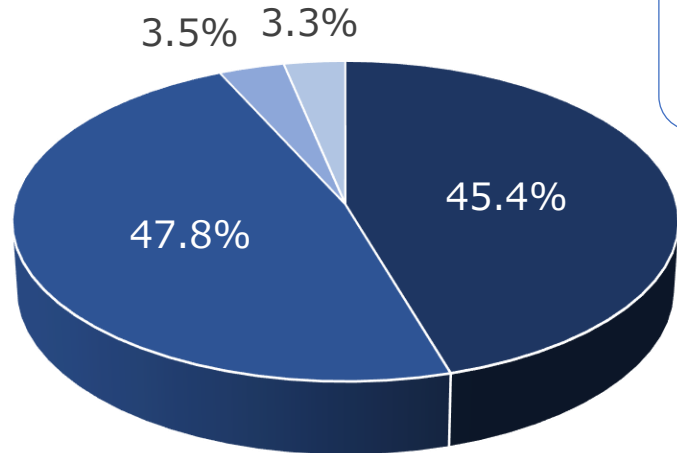


単位：百万円



# 事業領域：セグメント

売上高構成 2022/3期 2Q



- イメージング
- セキュリティ
- ストレージ
- ビジネス



可搬型記憶媒体システムの開発、販売、保守

**世界Only One**

顧客ニーズに応じた特殊なソフトウェアの受託開発、販売および保守

ビジネスソリューション事業

産業用インクジェット・プリンタ用制御ソフトウェア、広巾長尺プロッタ用制御ソフトウェア、ポストスクリプト・ラスライザの開発、販売及び保守

イメージング&プリンターコントローラ事業



**世界Only One**

ストレージソリューション事業

情報セキュリティ事業



セキュリティプリントシステムおよび統合監視映像システムの開発、販売、保守

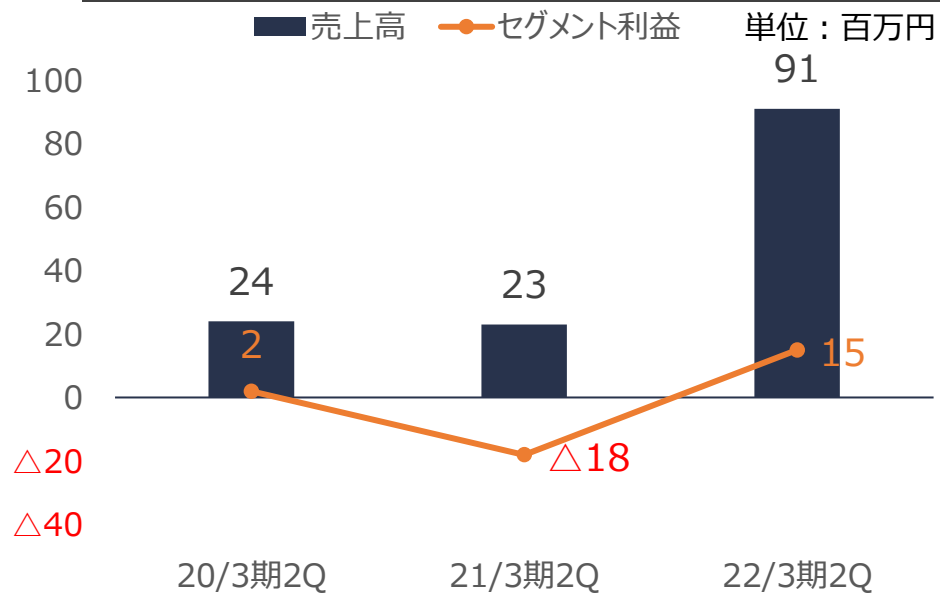
**世界Only One**

# イメージング&プリンターコントローラ事業

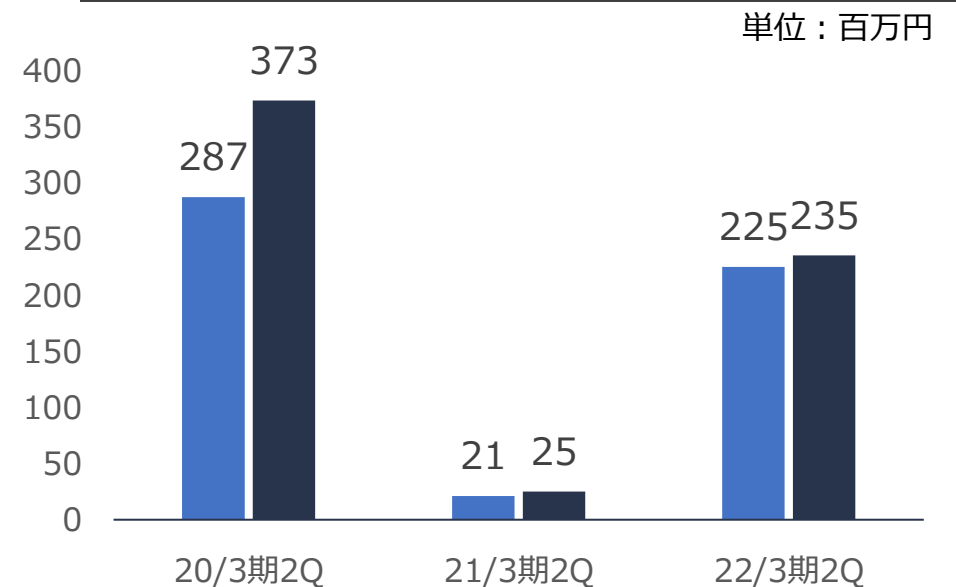
事業方針：確度の高い「高額・ハイエンド」案件に集中。コロナ前の業績水準回復を目指す。

2Q概況：停滞していたプロジェクトが再稼働し急回復。大幅な増収。受注状況も順調。

2Q売上高とセグメント利益



2Q受注高と受注残高



# セキュリティ事業

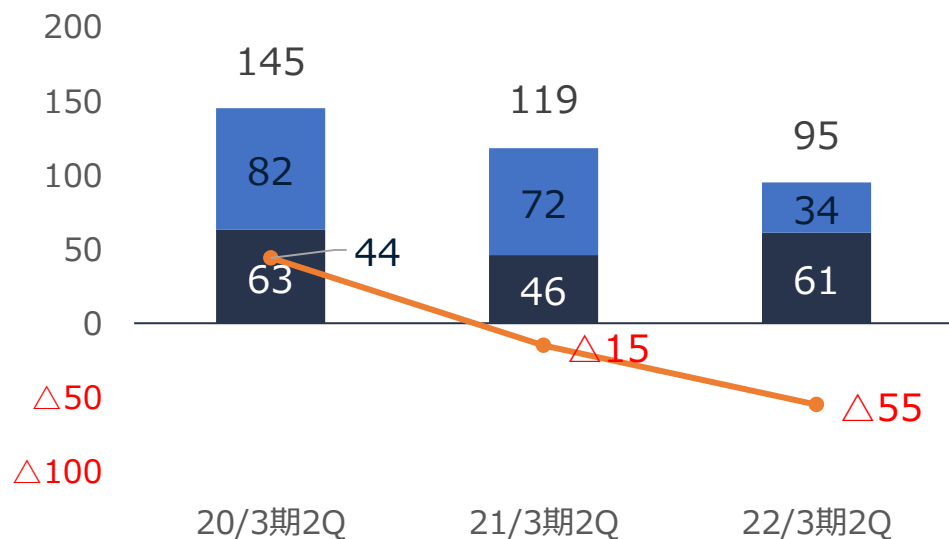


**事業方針：案件を確実に受注につなげ増収増益を図る。**

2Q概況：セキュリティプリントシステムは官公庁への納品が進み、前期実績を上回る着地。統合監視映像は新機能開発に注力したこともあり減収となったが受注は好調。両部門とも受注高、受注残高はコロナ前を上回る水準。

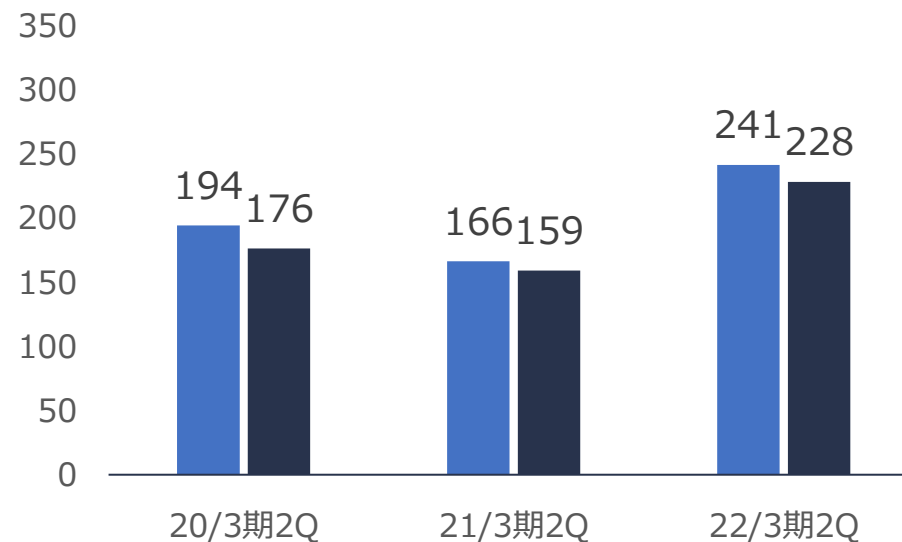
**2Q売上高とセグメント利益**

単位：百万円 ■ 売上高（プリント） ■ 売上高（映像） ● セグメント利益



**2Q受注高と受注残高**

単位：百万円

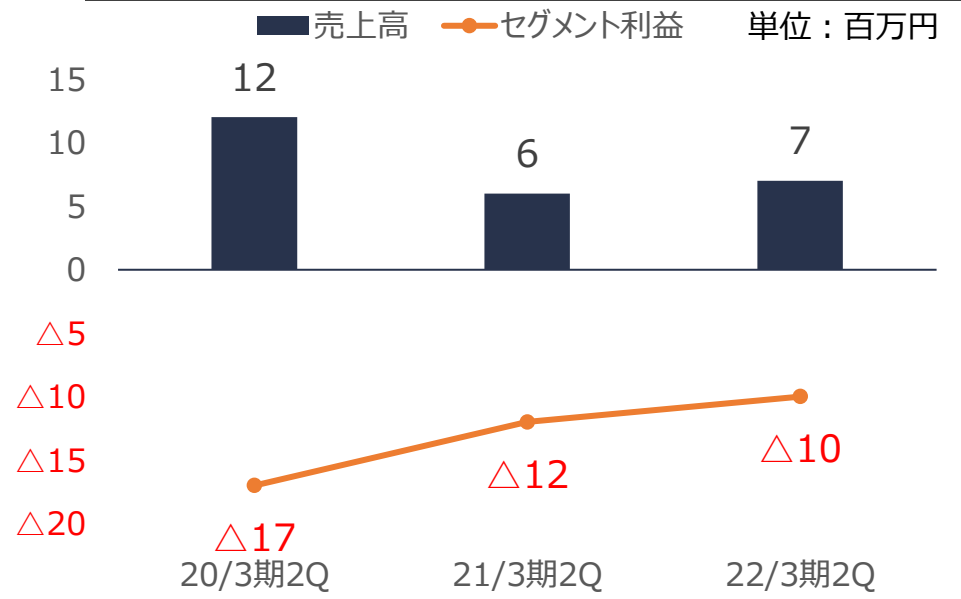


# ストレージソリューション事業

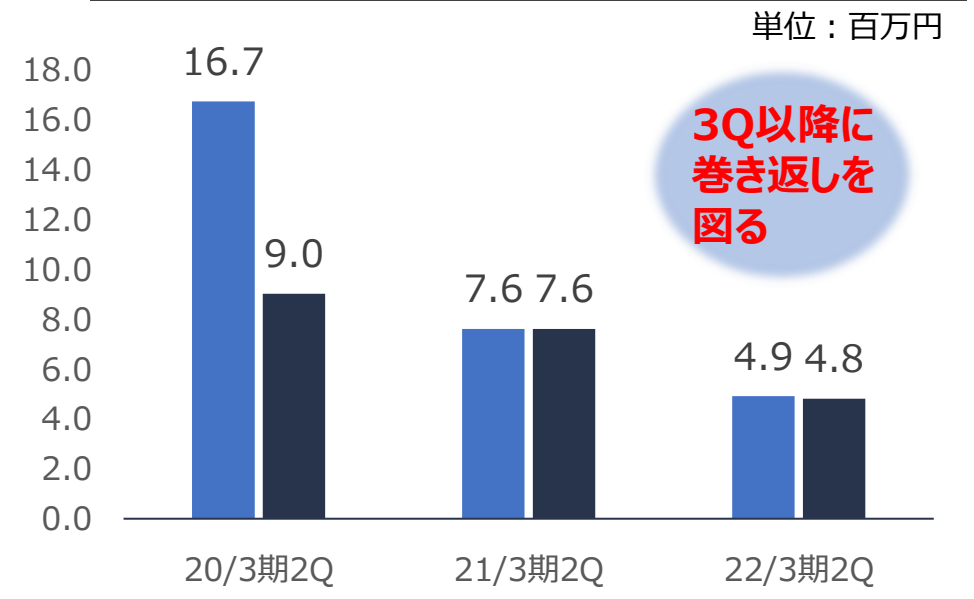
**事業方針：営業強化。早期黒字化を目指す。**

2Q概況：大型の引合い増加。納入数も徐々に増加。大容量データを一括管理することが必要な国家プロジェクト、先端研究分野、テレコム産業等を中心に販売を強化。

**2Q売上高とセグメント利益**

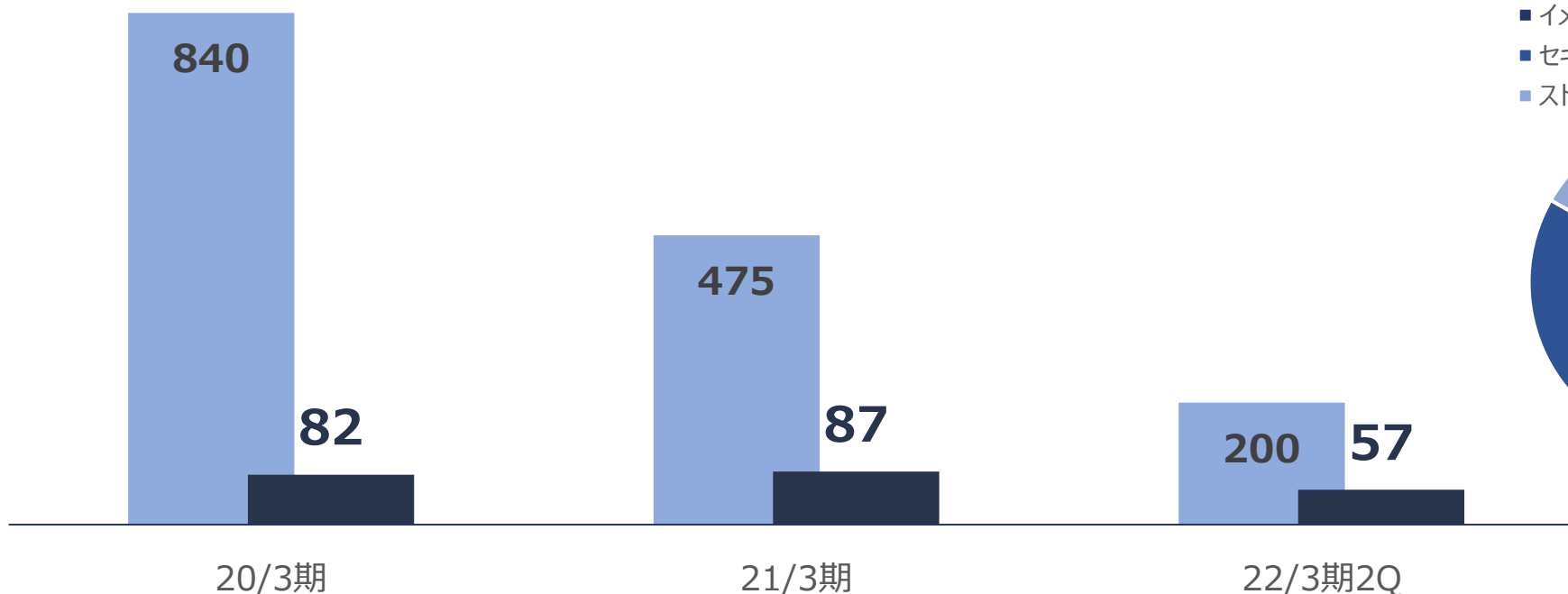


**2Q受注高と受注残高**



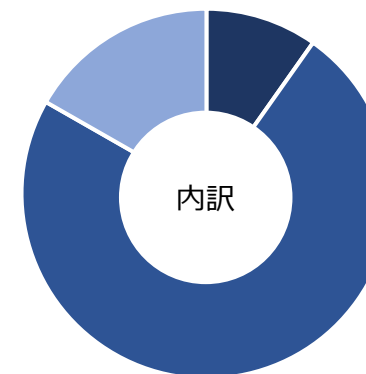
## 将来の収益獲得のため積極的な研究開発投資を継続

■ 売上高 ■ 研究開発費



R&Dセグメント別内訳

- イメージング&プリンタコントローラ
- セキュリティ
- ストレージ



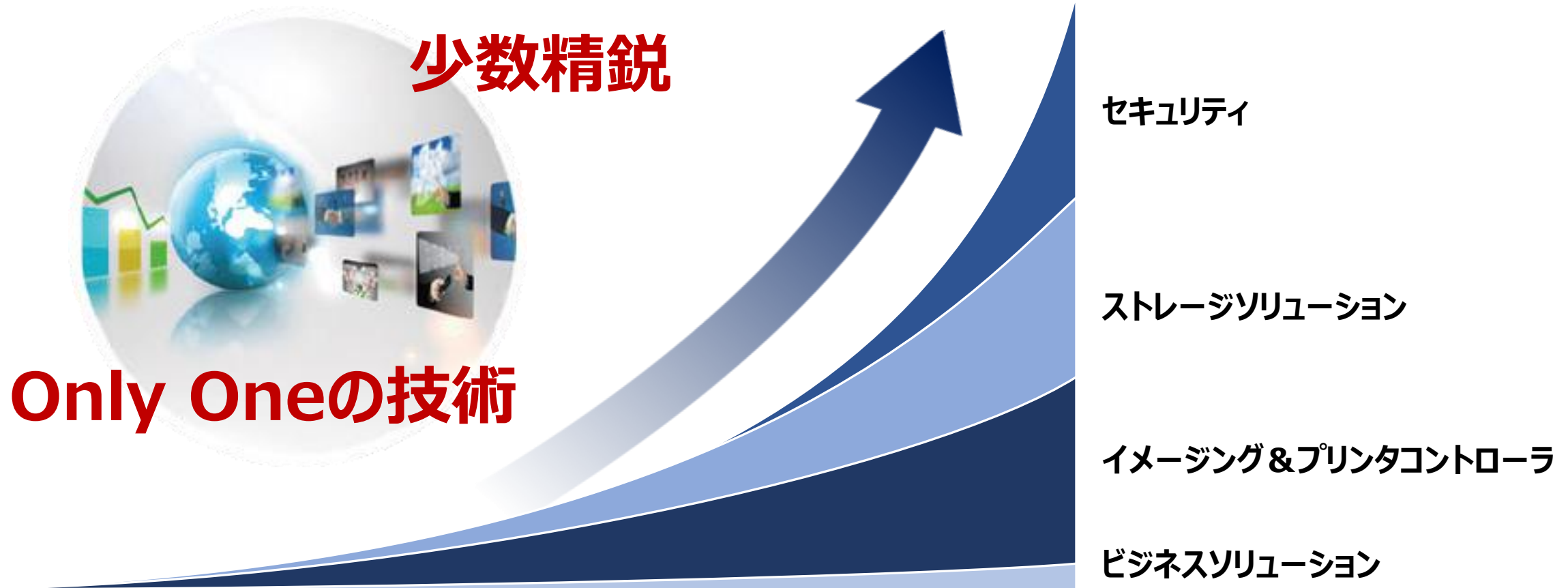
単位：百万円

# 2022年3月期通期業績予想について

第2四半期は、第1四半期の流れを持続。前期大きく苦戦した主力事業イメージング&プリンタコントローラ事業の受注・納品活動が順調に進捗。もう一方の主力であるセキュリティ事業も、前期比減収ではあったもののニーズは大きく、受注高、受注残高ともに前期を大きく上回る水準となり、通期計画達成に向け順調。

	2022/3期 予想	ご参考 2019/5/15公表 計画値	2021/3期 実績	前年同期比較	
				増減額	増減率
売上高	<b>800</b>	1,300	475	+324	+68.1%
営業利益	<b>150</b>	450	△77	+227	—
経常利益	<b>150</b>	450	△54	+204	—
当期期純利益	<b>80</b>	300	△56	+133	—

# 中期成長イメージ







<https://www.ntl.co.jp/>

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。又、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。又、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。